

建築鉄骨構造技術支援協会「鉄骨技術フォーラム2022」

一 鉄骨造建築物の構造設計・鉄骨製作等における疑問に答える一

開催の趣旨

今回のフォーラムは昨年と同様、角形鋼管柱を用いた中小規模鉄骨造建築物を主な対象として、鋼材、構造設計、鉄骨製作、現場施工等における会員各位の日頃から抱える疑問点に当協会の関係者が回答し、更にそれらについて意見交換を行うことを考えております。フォーラムの詳細は以下の通りです。

尚、今回のフォーラムでは昨年同様、より多くの方々にも情報提供ができるよう配慮し、WEB配信も併用することとしております。鉄骨構造物に関心をお持ちの多くの方々の参加をお待ちしております。

(一社) 建築鉄骨構造技術支援協会 理事長 稲田達夫

記

主 催 (一社) 建築鉄骨構造技術支援協会

後 援 (一社) 東京構造設計事務所協会 (ASDO)

日 時 2022年11月18日 (金) 13:30~16:30 (開場: 13:00)

場 所 建築家会館ホール (渋谷区神宮前2-3-16、東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩8分)

参加費 会員6,000円、非会員8,000円 ※ASDO会員、全青会会員は当協会会員として扱います
(WEB配信希望の場合は、会員3,000円、非会員6,000円)

定 員 会場参加 50名程度、WEB配信 50名程度 (いずれも申し込み順とします)

定員になり次第、申し込みを締め切ります。

プログラム

1. 理事長挨拶

2. 鉄骨造建築物の設計・鉄骨製作等における疑問に答える。

コーディネータ： 田村和夫

回答者： 伊藤優、稻田達夫、千田光、護雅典、増田浩志、山内哲理

質問例を以下に示します。9月30日まで質問を受け付けます。

3. SASST調査研究委員会からの報告

4. 意見交換会（懇親会）

会場： 「TO THE HURBS」 外苑本店(イタリアン)

定員： 60名程度 (会費3000円、当日、現地にて徴収します。)

①ベース現場穴あけについて

②丸パイプ柱工場溶接の資格について

③増築梁ガセット取合いについて

④S N材、B種のC種への代用について

⑤ベースプレート補強座金の厚さと大きさ

⑥亜鉛メッキ高力ボルト使用時の拡大孔

⑦ターンバッフル屋根プレースのワーリングボルトについて

⑧極端な鋭角に取付くガセットプレートの隅肉溶接

⑨「高力ボルト摩擦接合面」の定義

⑩溶融亜鉛メッキ部材の高力ボルト摩擦接合面処理

⑪H形鋼の裏サイズの今後の動向

⑫ハイテンションボルトの軸力検査

⑬大梁へのSM490A材の使用について

⑭剛接間柱の補強リブ取り付け方法について

⑮造船用鋼材の使用について

⑯H形鋼・外法一定H形鋼について

建築家会館ホール（渋谷区神宮前2-3-16、東京メトロ銀座線 外苑前駅より徒歩8分）

案内図

